

都民世論の  
画期的勝利

# 舛添知事の辞職表明で 日本共産党都議団が 談話を発表

舛添知事の辞職表明を受けて、日本共産党都議団・大山とも子幹事長は次の談話を発表しました。

## 舛添知事の辞職表明について

2016年6月15日

日本共産党東京都議会議員団

幹事長 大山とも子

舛添知事が、辞職願を都議会議長に提出しました。都民世論の画期的な勝利です。

舛添知事の高額な海外出張、公用車の私的利用、政治資金の不正使用に対し、都民の怒りの声が広がり、都庁に3万件を越す批判の声が寄せられ、真相究明と知事の辞職を求める声が大きく高まりました。この力が、最後まで辞職を拒み続けてきた舛添知事に、続投を断念させたといえます。

日本共産党都議団は、独自の調査で舛添知事の税金、公的資金の私的流用の実態を明らかにし、本会議質問、総務委員会における質疑で、舛添知事を厳しく追及するとともに、知事が疑惑の全容を明らかにし、速やかに辞職するよう強く求めてきました。

同時に、知事の不信任案を提出し、各会派に共同提出を呼びかけるなかで、不信任案の共同提案が実現しました。このことも、大きな力になったと思います。

わが党は、都政で再び今回のような事態を繰り返さないためにも、百条委員会を設置し、真相の全面解明を行うために、引き続き力をつくすものです。

# 日本共産党

東京  
民報

2016年6月号外 日本共産党東京都議団が発表した談話を紹介します。  
発行／東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日第三種郵便物認可

ご意見・ご感想は  
東京都委員会へ ☎03-3370-0311